

1 1 展覧会運営委員会

一、展覧会運営委員会の任務

科学展・書道展・図工美術展・ものづくり展を開催することを通して、市内の児童生徒の自然事象への興味・関心を高めるとともに、表現・製作活動への意欲の高揚を図る。

二、各部会の活動内容及び成果と課題

書道展部会

1. 活動内容

- 7月17日 市・県書道展審査員の推薦を各校に依頼。
- 8月28日 作品募集案内を各校に配布。
- 10月12日 書道展審査。
 - ・入選者名簿と賞状、巡回展日程、及び入選以外の返却作品を各校に配布（市入選135点 県入選45点）
 - ・巡回展準備（展示シート作り→最初の巡回校に持って行ってもらう）
- 10月15日 入選作品巡回開始（小学校10校 中学校7校）
- 12月25日 巡回展終了。

2. 書道展審査

(1) 期日

- ・作品持ち込みの都合を考慮し、作品募集締切日と審査日を同じ日にしている。年内に巡回を終えるためには、本年度並みでよいと思われる。中学校では文化祭の後で良かったという意見もあった。
- ・要項の連絡は、夏休み明けに行った。各学校余裕を持って準備していただけるように、早めに要項を準備したい。

(2) 方法・手順

- ・安曇市展入賞作品は、入選作品が偏らないように、考慮して選定した。
これでよしとする意見が大勢を占めた。学級まで配慮しての選定は、審査の趣旨から考えると難しいと思われる。
- ・小学校の部では、対象枚数が多く、審査に時間を要した。少し枚数を減らして（クラス1枚～2枚、あるいは、学年で3など。現行はクラス3枚）持ち寄ると効率的に審査できるという声もある。そのためにも、事前に審査会議を行い、審査の方針を確認しておくなど、スムーズに審査が始められるような工夫を考えたい。
- ・指導書を用意しておいたので、点画の確認ができてよかった。
- ・講師をお願いした。審査にも入っていただき、アドバイスを受けながら審査ができてよか

った。また、書写指導についてのご指導もいただいた。

(3) 児童・生徒の作品から

- ・書写の時間がとりにくくなっている中、各校とも質の高い作品が出されていた。
- ・際立って目を引く作品もあるが、みんなで見ることによって作品を審査するときの見方に自信がついたり、違う見方も発見できたりし、参考となった。
- ・基本点画をしっかりと指導したい。勢いがありすばらしい作品でも、正しい点画でないために入選できない作品があった。

(4) その他

- ・審査が延長した時、また、片付けの時間を考え、審査会場は時間に余裕をもってお借りするようにしたい。

3. 市巡回展

- ・作品を運ぶための袋を新調していただき、ありがたかった。

4. 来年度への要望

- ・審査要項の確認や審査の方針について、審査員が事前に打ち合わせをするかどうか検討してほしい。
- ・来年度も、講師の先生をお招きして審査を行いたい。
- ・硬筆書用の展示シートがあるとうれしい。現在のシートは、作品が皺になってしまい、残念である。

科学展部会

1. 実施内容、審査日時・期日について

(1) 部会の活動内容

- ① 6月 4日 (月) 「科学展運営学校代表者会の開催(通知)」発送
- ② 6月 19日 (火) 科学展運営学校代表者会開催 (南安曇教育会館)
(ア)市科学展の出品依頼と開催要項配布
(イ)県学生科学賞作品展覧会への出品依頼配布
- ③ 9月 4日 (火) 県学生科学賞作品展出品作品市段階審査
- ④ 9月 6日 (木) 県学生科学賞作品発送
- ⑤ 10月 11日 (木) 「市科学展審査会開催(通知)」発送
- ⑥ 10月 23日 (火) 「市科学展審査会開催(堀金公民館)
- ⑦ 10月 23日 (火) 市科学作品展出品目録を各校にメール添付で配布
- ⑧ 10月 24日 (水) ～ 12月 21日 (金) 巡回展
- ⑨ 12月下旬～ 巡回展作品整理と返品

(2) 審査について

- ①県学生科学賞作品展出品作品審査 (科学展委員2名による審査)

昨年度(平成 23 年度)の市科学作品展金賞作品を中心に出品依頼。

審査の結果、小学校より出品のあった 5 点中 3 点を出品した。

中学校は該当作品なし

【県展結果】

「キアゲハの研究」 豊科東小学校 4 年 入選

「土の水はけ、保水力」 堀金小学校 5 年 入選

「安曇野のチョウの生息環境」

堀金小学校 6 年 入選

②安曇野市科学展審査（各校の代表者による審査）

【出品点数】

小学校							中学校			
1年	2年	3年	4年	5年	6年	総計	1年	2年	3年	総計
7	2	35	42	49	46	181	34	34	6	74

2. 巡回展について

- ・市審査において、金賞となった作品を巡回した。
- ・小学校 2 グループ、中学校 1 グループ を各校約平日 6 日を目安に日程を組んだ。

3. 作品内容、準備等について

- ・作品の大きさについて、代表者会の際に確認をしておくこと。大きすぎるものは、巡回展で掲示する時に困るという意見あり。
- ・各校からの出品数は、要項の通り学級数を最大出品数とし、審査会はその半分にするこ
と。今年度徹底されていなかった。
- ・来年度以降、賞状は金・銀・銅賞受賞作品のみに配布すること。佳作には与えない。また、各校に配布する際には、部会側で枚数を分けておくこと。予備はない。

4. その他

- ・科学展審査会は教育会と校長会の共催なので、旅費は各学校から。会場は、堀金公民館講堂が駐車場・会場とも広く都合がよい。直接公民館に連絡し、予約する。
- ・教育課程の見直し、展示スペースの関係などから、出品のない学校もある。科学展の開催を続けていくかについて検討することも考えられる。
- ・引き継ぎを確実にするために、前年度担当者と顔を合わせて話をする機会を設けていただきたい。運営について他校よりお叱りをいただいた。前年度の様子や申し送り、準備や施設の予約など、全くわからない中での運営は非常に困難であり、いただいたご意見にもうまく対応できなかった。

図工・美術展部会

1 実施内容・審査日時・期間について

(1) 審査

各学校において、学級数（特別支援学級を含む）の作品を入選とする。
賞状は、教育会で準備し、作品提出と引き換えに渡す。

(2) 巡回展準備

- ・ 各校で入選作品を連にする。
- ・ 各校を巡回する連と、自校だけに展示する連とに分ける。
- ・ 各校を巡回する連は、小学校2連以内、中学校3連以内とする。
- ・ 最上部に、校名を書いた耳を付ける。
- ・ 巡回の連は、縦4点、横5点以内で統一する。（縦横混合は不可）
- ・ 巡回作品は、11月9日(金)17:00～18:00の間に必ず搬入する。

(3) 巡回展示

- ・ 展覧会運営委員が連と校名札を確認し、最初の巡回校に届ける。
- ・ 下記計画により、小・中学校別に巡回、展示を行う。

2 反省

- ・ 例年通りの計画でよい。
- ・ 作品準備は、各学校で行っていただき、トラブル等はなかった。

3 来年度への要望

- ・ 順調に行われているので、これまでの計画と同様に推進してよいと思われる。

安曇野市巡回展 巡回日程（小学校）

	学 校	期 間
1	穂高西小学校	11月12日（月）～11月16日（金）
2	穂高南小学校	11月19日（月）～11月22日（木）
3	穂高北小学校	11月26日（月）～11月30日（金）
4	明北小学校	12月 3日（月）～12月 7日（金）
5	明南小学校	12月10日（月）～12月14日（金）
6	豊科東小学校	12月17日（月）～12月21日（金）
7	豊科北小学校	12月25日（火）～ 1月10日（木）
8	豊科南小学校	1月 11日（金）～ 1月18日（金）
9	三郷小学校	1月 21日（月）～ 1月25日（金）
10	堀金小学校	1月28日（月）～2月1日（金）→堀金中へ

安曇野市巡回展 巡回日程（中学校）

	学 校	期 間
1	三郷中学校	11月12日（月）～11月16日（金）
2	豊科南中学校	11月19日（月）～11月22日（木）
3	豊科北中学校	11月26日（月）～11月30日（金）
4	明科中学校	12月 3日（月）～12月 7日（金）
5	穂高東中学校	12月10日（月）～12月14日（金）
6	穂高西中学校	12月17日（月）～12月21日（金）
7	堀金中学校	12月25日（火）～ 1月10日（木）

ものづくり展部会

1. 活動内容

- 9月 安曇野市児童生徒ものづくり展への出品依頼
- 10月 パンフレット配布・市民タイムス安曇野支社へ案内
- 10月22日（月）～26日（金） 作品搬入
- 10月26日（金） 展示準備
- 10月27日（土）～11月2日（金） 安曇野市児童生徒ものづくり展開催
- 11月2日（金） 片付け・賞状配布
- 11月2日（金）～9日（金） 搬出

2. 会場 開催場所 南安曇教育文化会館

- ・絵画の展示もすると華やかになってよい。展示する作品を図工美術展委員へ確認して、案内に明記した。
- ・信州子ども100年館（名前確認必要あり） 地方入選 長野県児童生徒美術展 地方入選の作品を展示した。

3. 作品内容、準備等

- ・展示作品総数 163点、賞状163枚（平成20年度191点・平成21年度205点・平成22年度154点・平成23年度160点） 出品点数はやや少なめだった。
- ・出品点数のめやすを明示（小学校11点中学校12点）しているが、各校によつての些少の多少については認めてきており、これからもその方向で実施する。（共同製作の一部、特別支援学級児童・生徒には個別に賞状を受領できるように配慮している）特別支援学級児童・生徒の発表の場として、よい機会となっている。
- ・委員会では暗幕がないため、三郷中学校の暗幕をお借りしている。今後もお願いしていきたい。
- ・毎年、県展地方入選作など一部絵画作品を同時展示している。絵画があると華やかなので、

続けていきたい。ただし展示はそれぞれ本来の係で分担して行っていく。また、展示されている絵が、何の入選作品なのか分かるように表示されているとよい。

- ・展示作業は、15:00～17:00には終了する。（会館の閉館までに終了する）
- ・出品名簿を作品運搬用の箱に貼ってある学校は、片付けのときも確認しやすくよかった。

4. その他

- 参観者数 27日(土) 72名 28日(日) 92名 29日(月) 14名
 30日(火) 8名 1日(木) 7名 2日(金) 12名
- 参観者は出品された子どもたちとその家族が主だったようである。
- 近くの会場なので行きやすかったと思う。
- 賞状を全員にいただけることが子どもたちの励みとなったように思う。
- 期日については、作品が多くなるこの時期でよい。
- 経費・弁当の手配・暖房や平日の開催など、会館の先生にお世話になった。
- 看板は会館視聴覚室前の棚上に保管。大きさは幅40cm 高さ2枚40cm。幅が狭いため、レイアウトに注意。文字を太字にしてめだたせた方がよい。開催時間も入れていく。来年度より〇〇年度はなしで、繰り返し使えるようにしていく。
- 時間を長くできないか。（平日18時まで等）
- パンフレットに水曜日の午後も開催と明記してしまい、学校関係者より苦情あり。水曜日のみ午前開催にするか、水曜日の午後に担当者を割り当てるか検討したい。
- 教育文化会館で実施することを考えると、これ以上展示期間を長くすることは難しいと思うが、「みらい」などを利用して土日が2日間入る9日間ぐらい展示ができるとよい。
- 今年度、急遽、技家研の作品コンクール作品審査を同時に行った。来年度も同様に審査をお願いしたいと、技家研の先生より申し出があった。